機能ID	機能名称			機能の定義	実装区分		適合基準日
	大分類	中分類	機能名称		指定都市	一般市区町村	
0050106	13. 共通機能	13.5. 共通管理	ヘルプ機能	ヘルプ機能として、操作画面上から、当該画面の機能説明・操作方法等が確認できるオンラインマニュアル（画面上に表示されるマニュアル類）が提供されること。	◎	◎	令和8年4月1日
0050107	13. 共通機能	13.5. 共通管理	基本データリストに準拠した出力	「基本データリスト（選挙人名簿管理システム）」に準拠したデータ出力機能が提供されること。 なお、システム契約期間の終了時には、その時点での「基本データリスト（選挙人名簿管理システム）」に定めるとおり、データ提供ができること。	◎	◎	令和8年4月1日
0050135	13. 共通機能	13.5. 共通管理	保存期間を経過した情報の削除	法令年限及び業務上必要な期間（保存期間）を経過した情報について、標準準拠システムから物理削除できること。 保存期間は、各地方公共団体が任意で指定できること。	◎	◎	令和8年4月1日
0050108	13. 共通機能	13.6. エラー・アラート項目	エラー・アラート項目	論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等、又論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、別紙4「エラー・アラート要件」に従い、抑止及び注意喚起すること。 エラーは、当該内容で本登録することを抑止することが目的であり、その実装方法としては、エラーメッセージを表示し、次の画面に進めないようにすることも、エラーメッセージの表示によらず、そもそも入力不可とすることで対応することも差し支えない。また、本登録段階でエラーメッセージを表示して抑止することも、いずれもエラーの実装方法として許容される。 エラー・アラートとする場合は、原因となったエラー・アラート項目と理由・対応方法を入力者に適切に伝えること。	◎	◎	令和8年4月1日
0050109	13. 共通機能	13.6. エラー・アラート項目	一括処理などにおけるエラー・アラート	一括処理などにおいて、業務上確認・調査が必要な項目がある場合は、エラー及びアラートとして通知されること。	◎	◎	令和8年4月1日
0050110	13. 共通機能	13.6. エラー・アラート項目	一括処理などにおけるエラー・アラート	エラー・アラートの詳細についてEUCで出力可能なこと。	◎	◎	令和8年4月1日
0050111	13. 共通機能	13.6. エラー・アラート項目	一括処理などにおけるエラー・アラート	エラー及びアラートとなったデータ項目の修正や修正後の再処理などが可能であること。	◎	◎	令和8年4月1日
0050112	13. 共通機能	13.6. エラー・アラート項目	エラー・アラート項目の選択	各地方団体の組織体制・業務状況等に応じて、各パッケージ製品に実装しているエラー及びアラート項目の発出有無を選択できること。 また、エラー（処理不可）とするか、アラート（処理可）とするかを切り替えできること。 ただし、システムの構造上、必須となるエラーについては、この限りではない。	◎	◎	令和8年4月1日
0050113	13. 共通機能	13.7. 様式・帳票出力	データ出力	各種通知書（名簿、投票所入場券、宣誓書を含む）について、印刷の外部委託を実施するための印刷イメージデータ及びテキストデータを出力できること。 IPAMJ明朝フォントで出力すること。	◎	◎	令和8年4月1日
0050133	13. 共通機能	13.7. 様式・帳票出力	データ出力	各種帳票について、サンプルデータ、白紙状態（null）での出力が可能なこと。	○	○	―